

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票
(養護教諭用)

文部科学省

学校名: _____

A 貴校の保健室についてお聞きします。あてはまる数字に○をつけてください。

問 1 学校再開後、保健室の機能が再開するまで(仮設の保健室を含む)にどのくらいかかりましたか。(○は1つ)

1. 学校再開と同時に 2. 1週間以内 3. 2週間以内 4. 1か月以内
5. 1か月以上 6. 現在も再開されていない

B 保健室で把握している子どもの様子についてお聞きします。

問 2 現在、震災の影響(地震・津波・放射線)と思われる、以下のような症状等が一つでも見られる子どもは何人いますか。

- | |
|------------------------------|
| ① 食欲の異常(不振または過剰) |
| ② 睡眠不足になっている |
| ③ 頭痛、腹痛、吐き気、下痢や便秘、頻尿のいずれかがある |
| ④ 持病(ぜん息やアトピー性皮膚炎等)が悪化した |
| ⑤ 体のだるさ、疲労感を訴える |
| ⑥ 元気がない、意欲が低下した |
| ⑦ あまり話さなくなった |

男	女
人	人

※いない場合は、「0」人としてください。

問 3 現在、震災の影響(地震・津波・放射線)と思われる、以下のような気になる様子が一つでもある子どもは何人いますか。

- | |
|------------------------------------------------|
| ① 災害のことを突然思い出して動揺する |
| ② 災害を連想させる事柄や場面に出会うと、あわてて話題を変えたり、その場から立ち去ろうとする |
| ③ 喜怒哀楽がなくなり、無表情になった |
| ④ 些細な音でビクッとしたり、過剰に警戒するようになった |

男	女
人	人

※いない場合は、「0」人としてください。

問 4 問 3 で挙げた 4 項目以外に、震災による PTSD の症状と思われるものがあればお書きください。

--

問 5 問 2 や問 3 のいずれかの子どものうち、受診が必要と判断した子どもは現在何人いますか。そのうち、実際に受診したのは何人ですか。

男		女	
	実際に受診した子ども		実際に受診した子ども
人	人	人	人

※いない場合は、「0」人としてください。

問 6 今年度新たに、震災の影響(地震・津波・放射線)ではないかと考えられる「保健室登校」になった子どもは何人いますか。いると答えた方は、人数をご記入ください。

男	女
人	人

※いない場合は、「0」人としてください。

問 7 あなたが保健室で把握されている、震災後の子どもの悩み等があればお書きください。例：将来への不安、仲間はずれにされないか心配等

--

C 震災後の「子どもの心身の健康問題への対応」についてお聞きします。

問 8 あなたは、子どもの心身の健康問題への指導や支援について、以下の事柄にそれぞれどのくらい取り組んでいますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	組 ん で い る	十 分 取 り 組 ん で い る	取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い な い	取 り 組 ん で い な い
(a)学級担任等と連携して組織的な健康観察、健康相談、保健指導を実施する	1	2	3	4	
(b)子どもの心身の健康状態を日頃からの確に把握し、問題の早期発見・早期対応をする	1	2	3	4	
(c)子どもが相談しやすい保健室の環境づくりに努める	1	2	3	4	
(d)常に情報収集に心がけ、問題の背景要因を把握する	1	2	3	4	
(e)子どもの個別の支援計画の作成に参画する	1	2	3	4	
(f)校内関係者や関係機関等との連絡調整をする	1	2	3	4	
(g)医学的な情報を教職員に提供する	1	2	3	4	
(h)地域の医療機関や相談機関等の情報を提供する	1	2	3	4	

**問 9 あなたは、子どもの心身の健康問題について誰に相談していますか。
(○はいくつでも)**

1. 管理職
2. 養護教諭
3. 他の教員
4. 学校医
5. 精神科医
6. スクールカウンセラー
7. 地域の相談機関
8. その他: _____
9. 特にいない

問 10 あなたは、子どもの心身の健康問題の対応について、特に活用している参考資料はありますか。(〇はいくつでも)

1. 「子どもの心のケアのために」文部科学省発行(H22)
2. 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」文部科学省発行(H21)
3. 県や市町等が作成した資料
4. その他: _____
5. 特にない

問 11 あなたは、子どもの心のケアを行う専門機関や震災後開設された相談機関を知っていますか。あてはまるところに〇をつけてください。

問 11-1 専門機関 (〇は1つ)

1. 所在地や連絡先、機関の活動内容等、具体的な情報を知っている
2. あることは知っているが、具体的なことは知らない
3. 知らない

問 11-2 震災後開設された相談機関 (〇は1つ)

1. 所在地や連絡先、機関の活動内容等、具体的な情報を知っている
2. あることは知っているが、具体的なことは知らない
3. 知らない

問 12 あなたは、特に専門的な心のケアが必要な子どもに対して、どのように対応していますか。(〇はいくつでも)

1. 教職員間で情報を共有し、組織で対応している
2. 専門医や相談機関を紹介している
3. 本人・保護者との面談を行っている
4. 集団指導や、学級で心のケアを実施している
5. その他: _____
6. 心のケアが必要な子どもはいるが、どのように対応したらいいかわからない
7. 心のケアが必要な子どもはいない

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票：養護教諭

問 13 心身の健康問題に対応するに当たって、以下のような課題があると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
(a)子どもの心のケアに関する教職員の基礎知識が不十分である	1	2	3	4
(b)緊急対応や子どもの心のケアに関する教職員間の意識に違いがあり、対応にばらつきがみられる	1	2	3	4
(c)家庭との連絡や状況把握が十分にできていない	1	2	3	4
(d)関係機関等との連携が十分に図られていない	1	2	3	4
(e)教職員の心のケアが十分にできていない	1	2	3	4

問 14 障害のある子どもの対応に当たって、貴校では以下のような課題があると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない	該当する子どもは いない
(a)発達障害のある子どもへの支援が十分にできていない	1	2	3	4	5
(b)知的障害のある子どもへの支援が十分にできていない	1	2	3	4	5
(c)肢体不自由のある子どもへの支援が十分にできていない	1	2	3	4	5
(d)視覚・聴覚障害のある子どもへの支援が十分にできていない	1	2	3	4	5
(e)病弱・身体虚弱のある子どもへの支援が十分にできていない	1	2	3	4	5

問15 この震災で養護教諭としてお感じになったこと、今後の学校の課題等に関して特記すべきことがございましたら、お書きください。

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票
(スクールカウンセラー用)

文部科学省

学校名: _____

*平成 24 年度から新規に配置されたスクールカウンセラーが回答できないところは、
教育相談担当者をご記入ください。

A あなたの所属校種等についてお聞きします。あてはまる数字に○をつけてください。

問 1 所属校種に○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 幼稚園 2. 小学校 3. 中学校 4. 高等学校
5. 中等教育学校 6. 特別支援学校

問 2 本校には、いつから支援されていますか。(○は 1 つ)

1. 震災前から支援に入っていた (H 年 月から)
2. 震災後支援に入った (H 年 月から)
3. その他: _____

問 3 本校には、どの程度来校されていますか。(○は 1 つ)

1. 週に 1 回
2. 週に 2 回
3. 週に 3 回
4. 週に 4 回
5. 週に 5 回
6. その他: _____

B 支援に入られている学校での子どもや保護者等についてお聞きします。

問 4 震災による(地震・津波・放射線)心身の健康への影響について、現在、支援が必要な子どもや保護者、教職員等は何人くらいですか。

子ども	保護者	教職員	その他
人	人	人	人

※いない場合は、「0」人としてください。

問 5 現在までの支援の中で把握されている、震災後の子どもの悩み等があればお書きください。例：将来への不安、仲間はずれにされないか心配等

C 支援に入られている学校での活動についてお聞きします。

問 6 震災後、スクールカウンセラーとして、本校においてどのような活動をされましたか。(〇はいくつでも)

1. 子どもの心のケアの緊急対応や早期介入を行った
2. 子どもの個別面接を行った
3. 学級担任が行う子どもの集団指導を支援した
4. 保護者の個別面接を行った
5. 保護者対象の研修会を行った
6. 教職員への助言を行った
7. 教職員対象の研修会を行った
8. 心のケアに必要な教職員の個別面接を行った
9. 関係機関との連携に関するつなぎ役になった
10. 校内の関係委員会に参加し、共通理解を図った
11. その他：_____

問 7 この震災でスクールカウンセラーとしてお感じになったこと、今後の学校の課題等に関して、特記すべきことがございましたら、お書きください。

ご協力いただきありがとうございました。

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票
(保護者用)

文部科学省

学校名: _____

A この調査票を持ち帰ったお子様のことについてお聞きします。

あてはまる数字に○をつけてください。

問 1 お子様の性別 (○は1つ)

1. 男 2. 女

問 2 お子様の学校種・学年 (○は1つ)

- | | | | |
|---------------|------------|--------------|----------------------|
| 1. 幼稚園
5歳児 | 8. 中学校1年 | 14. 中等教育学校1年 | 20. 特別支援学校
幼稚園部 |
| 2. 小学校1年 | 9. 中学校2年 | 15. 中等教育学校2年 | 21. 特別支援学校
小・中・高部 |
| 3. 小学校2年 | 10. 中学校3年 | 16. 中等教育学校3年 | 22. 特別支援学校
中学部 |
| 4. 小学校3年 | 11. 高等学校1年 | 17. 中等教育学校4年 | 23. 特別支援学校
高等部 |
| 5. 小学校4年 | 12. 高等学校2年 | 18. 中等教育学校5年 | |
| 6. 小学校5年 | 13. 高等学校3年 | 19. 中等教育学校6年 | |
| 7. 小学校6年 | | | |

問 3 お子様は震災の影響(地震・津波・放射線)により、転校しましたか。
(○は1つ)

1. 震災後転校したが、現在はもとの学校に通っている
2. 転校した
3. 転校しなかった (震災の影響によらない転校の場合は、こちらに○)
4. その他: _____

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票：保護者

問 4 震災前と比べて、現在お子様に以下の様子は見られますか。

(○はそれぞれ1つつ)

(a) <small>げんき</small> 元気がなくなり、 <small>いよく ていか</small> 意欲が低下した	1 ある	2 ない
(b) <small>はな</small> あまり話さなくなった	1 ある	2 ない
(c) <small>すいみん じゅうぶん</small> 睡眠が十分とれなくなった	1 ある	2 ない
(d) <small>しょよく たいじゅう おお へんか</small> 食欲や体重に大きな変化があった	1 ある	2 ない
(e) <small>ずつう ふくつう しんぞう どうき か こきゅう など</small> 頭痛、腹痛、心臓の動悸、過呼吸、めまい等がおこるようになった	1 ある	2 ない
(f) <small>さいがい おも だ とつぜん こうふん</small> 災害のことを思い出して突然おびえたり、興奮や混乱することがある	1 ある	2 ない
(g) <small>さいがい おも だ わだい</small> 災害を思い出すような話題やニュースになると、 <small>わだい か ば た き</small> 話題を変えたり、その場から立ち去ろうとする	1 ある	2 ない
(h) <small>むひょうじょう おお</small> 無表情でぼんやりすることが多くなった	1 ある	2 ない
(i) <small>ものおと びんかん</small> 物音に敏感になったり、イライラするようになった	1 ある	2 ない
(j) <small>あま</small> よく甘えるようになった	1 ある	2 ない
(k) <small>いぜん ひとり で き</small> 以前は一人で出来ていたことができなくなった	1 ある	2 ない
(l) <small>がいしゅつ こわ</small> 外出を怖がるようになった	1 ある	2 ない
(m) <small>がっこう やす</small> 学校を休みがちになった	1 ある	2 ない
<small>ほか</small> その他:		

問 5 あなたは、震災(地震・津波・放射線)によるお子様の心身の健康への影響や不安について、以下の方に相談されていますか。
(○はいくつでも)

1. 学校の先生に相談している
2. かかりつけの医師(精神科以外)あるいは学校医に相談している
3. 精神科の医師に相談している
4. スクールカウンセラー*に相談している
5. 心の健康に関する相談機関に相談している
6. 電話相談を利用している
7. その他: _____
8. 特に相談していない

*スクールカウンセラーは、臨床心理やカウンセリングに関する専門知識等を用いて、子どもの相談等に当たる心の専門家であり、小学校、中学校、高等学校等に配置されている。

問 5-1 問 5 で「8. 特に相談していない」を選んだ方にお聞きします。
相談されなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に子どもの様子に変わりがなかった
2. 様子を見るだけでよいと思った
3. 誰に相談して良いのか分からなかった
4. 震災後の生活が大変で相談する余裕がなかった
5. 相談できる場所が近くになかった
6. その他: _____
7. 今回の質問に答えながら初めて子どもの異変に気付いた

問 6 あなたは、震災(地震・津波・放射線)によるお子様の心身の健康問題への対応について、さらに学校に望むことがありますか。
(○はいくつでも)

1. 子どもの心身状況をさらにきめ細かく把握してほしい
2. 保護者との連絡・協力をさらに強化してほしい
3. 専門の相談機関とすぐに連絡できる体制をさらに整えてほしい
4. 学校内で気軽に相談できる体制をさらに整えてほしい
5. スクールカウンセラーに時間をかけてさらに対応してほしい
6. 心のケアに関する研修会をさらに開催してほしい
7. 障害に配慮した支援をさらにしてほしい
(具体的に)
8. その他 (具体的に)
9. 特に望むことはない

B あなた自身のことについてお聞きします。

問 7 回答していただいた方はどなたですか。

1. 父親
2. 母親
3. 祖父母
4. その他: _____

問 8 年齢(○は1つ)

1. ~29歳
2. 30~39歳
3. 40~49歳
4. 50~59歳
5. 60歳~

問 9 性別(○は1つ)

1. 男
2. 女

平成 24 年度非常災害時の子どもの心のケアに関する調査票：保護者

問 10 さくねん しんさい じしん つなみ ほうしゃせん 昨年の震災(地震・津波・放射線)によって、げんざいふあん あなたが現在不安になつたり、しんぱい おも 心配に思つたりしていることはありますか。
(○はいくつでも)

1. かけい 家計のこと
2. じゅうきよ 住居のこと
3. かぞく びょうき 家族のけがや病気のこと
4. かぞく こころ けんこう 家族の心の健康のこと
5. こさま しょうらい お子様の将来のこと
6. しごと 仕事のこと
7. じぶん しょうらい 自分のまちの将来のこと
8. ほか その他: _____
9. ふあん しんぱい おも とく 不安や心配に思っていることは特にない

きょうりよく
ご協力いただきありがとうございました。